

学生出欠管理システム 操作説明手順書

Rev.2.5
平成 20 年 10 月 28 日

名古屋工業大学情報基盤センター

目 次

1. 概要.....	1
1.1. はじめに.....	1
1.2. 本ドキュメントについて.....	1
2. システム構成.....	2
2.1. 出欠管理サーバ.....	2
2.1.1. ハードウェア機能.....	2
2.1.2. ソフトウェア機能.....	2
2.2. WB-1S.....	2
2.2.1. ハードウェア機能.....	2
2.2.2. ソフトウェア機能.....	2
3. 操作説明.....	3
3.1. 教員用閲覧画面.....	3
3.2. 管理者用閲覧画面.....	22
3.3. 学生用閲覧画面.....	38
3.4. WB-1S 画面.....	44
3.5. WB-1S のプログラム終了方法.....	52
3.6. WB-1S の再起動方法.....	52
3.6.1. バッテリーが搭載されている場合.....	52
3.6.2. バッテリーが搭載されていない場合.....	52
3.7. WB-1S の設定ファイルの変更方法.....	52
3.8. WB-1S IP アドレス変更方法.....	52
3.9. サーバのアドレス変更方法.....	52
3.10. FTP のログイン情報変更.....	53
3.11. WB-1S 交換方法.....	53
3.12. WB-1S プログラムの更新方法.....	54
3.13. バッチプログラムの実行方法.....	54
3.13.1. インポート.....	54
3.13.2. エクスポート.....	54
3.13.3. 科目対応情報と授業情報のインポート.....	55
3.13.4. FeliCa 情報IDm2のインポート.....	55
3.13.5. 変更情報のインポート.....	55
3.14. ファイル書式.....	56
3.14.1. 生データ CSV.....	56
3.14.2. 表示形式データ CSV-出席情報一覧.....	57
3.14.3. 変更情報ファイル.....	57
3.15. バックアップについて.....	59
4. トラブル対応.....	60
4.1. 閲覧.....	60
4.1.1. 管理者ページにアクセスできない.....	60
4.1.2. ログインしていない旨のメッセージが表示される.....	60
4.1.3. ログインしているアカウントと違う情報が表示される.....	60
4.1.4. サーバから WB-1S 障害メールが届く.....	60
4.2. WB-1S.....	60
4.2.1. WB-1S プログラムが自動で立ち上がらない.....	60

4.2.2.	コントロールパネルの設定がリブート(再起動)すると、元に戻る.....	60
4.2.3.	エラーメッセージが表示される.....	60
4.2.4.	xxx の桁数を確認して下さい。.....	61
4.2.5.	xxx の値を数値で設定して下さい。.....	61
5.	設定ファイル.....	62
5.1.	WB-1S の設定.....	62
5.1.1.	IP アドレスの変更.....	62
5.1.2.	DNS の変更.....	62
5.1.3.	NTP の変更.....	62
5.1.4.	サーバの変更.....	62
5.1.5.	FTP の変更.....	63
5.1.6.	DB の変更.....	63
5.1.7.	メモリの変更.....	64
5.2.	バッチファイルの設定.....	65
5.2.1.	ID の変更.....	65
5.2.2.	パスワードの変更.....	65
5.2.3.	サーバ IP の変更.....	65
5.2.4.	DB 名の変更.....	65
5.2.5.	DB ポートの変更.....	65
5.2.6.	ログ出力の変更.....	65

1. 概要

1.1. はじめに

本操作説明書は、学生出欠管理システム(以下、「本システム」という。)における操作手順を記したものです。

1.2. 本ドキュメントについて

本ドキュメントは、「本システム」の操作手順について記述しています。

2. システム構成

システム構成一覧を以下に示します。

名称	利用目的	備考
出欠管理サーバ	WB-1S にて取得した学生の出欠情報を管理します。	
WB-1S	FeliCa 情報を取得し、取得した情報をサーバのデータベースに更新します。	

2.1. 出欠管理サーバ

出欠管理サーバの構成を以下に示します。

2.1.1. ハードウェア機能

構成品	名称・仕様	備考
本体	Windows Server2003マシン	

2.1.2. ソフトウェア機能

製品名	バージョン	種別	備考
Windows Server 2003	-	OS	
PostgreSQL	8.1.5	データベース	
Tomcat	5.0	Web サーバ	
Java	1.4.2_13	Java	

2.2. WB-1S

WB-1S の構成を以下に示します。

2.2.1. ハードウェア機能

構成品	名称・仕様	備考
本体	WB-1S	

2.2.2. ソフトウェア機能

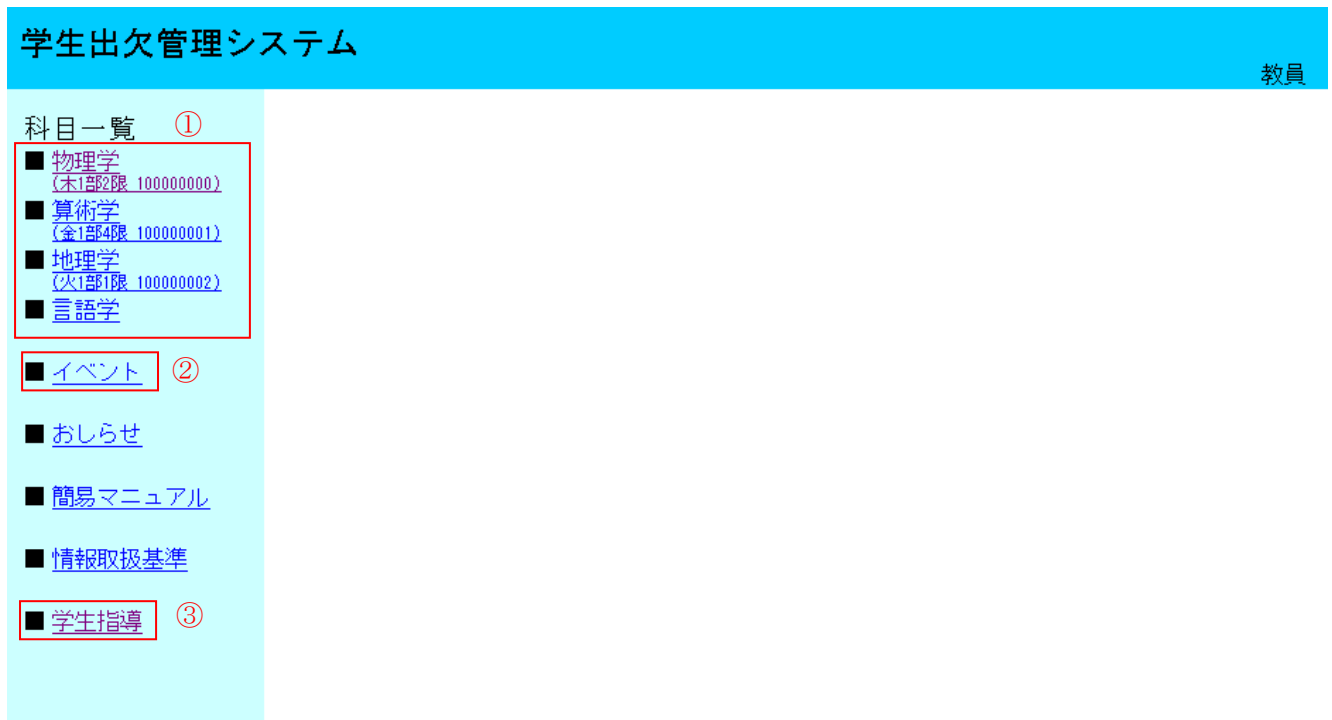
製品名	バージョン	種別	備考
WindowsCE	5.00	OS	

3. 操作説明

本システムの操作説明を以下に示します。

3.1. 教員用閲覧画面

図 1)トップ画面



- ①科目一覧表示。科目一覧から科目を選択することにより図 2 講時情報一覧画面が表示されます。
- ②イベントを選択することにより図 8 イベント情報一覧画面が表示されます。
- ③学習指導支援機能実行権限がある教員のみ学生指導が表示され、選択することにより図11学生指導トップ画面が、別ウィンドウで表示されます。

教員

学生出欠管理システム

科目一覧

- [物理学](#)
(木1部2限 100000000)
- [算術学](#)
(金1部4限 100000001)
- [地理学](#)
(火1部1限 100000002)
- [言語学](#)
- [イベント](#)
- [おしらせ](#)
- [簡易マニュアル](#)
- [情報取扱基準](#)
- [学生指導](#)

① 物理学 (木曜1部2時限 100000000)

② [講時情報](#) [出席情報](#)

回数	日付 ⑤	時限 ⑥	教室 ⑦	コメント ⑧
1	2007年12月01日	1部1-2時限	テスト教室303, テスト教室505, 教室テストE	コメント0.0
2	2007年12月08日	1部1-1時限		
④ 3	2007年12月15日	1部1-2時限		
4	2007年12月22日	1部1-2時限		
5	2008年01月05日	1部1-2時限		
6	2008年03月12日	1部6-6時限	教室	
⑨ 7				

- ① 選択した科目名(曜日時限 科目コード)を表示します。
- ② 表示しているページ情報をハイライト表示します。
- ③ 講時情報一覧を授業開始日と時限で昇順ソートし表示します。
- ④ 授業回数を表示します。授業回数を選択することにより図 3 講時情報詳細画面が表示されます。
- ⑤ 授業開始日を表示します。日付を選択することにより図 3 講時情報詳細画面が表示されます。
- ⑥ 時限を表示します。
- ⑦ 教室名称を表示します。教室名称を選択することにより図 3 講時情報詳細画面が表示されます。
- ⑧ コメントを表示します。コメントを選択することにより図 3 講時情報詳細画面が表示されます。
- ⑨ 授業が登録されていない回数を選択することにより、図 3 講時情報詳細画面が表示され、新規に登録が行えます。

図 3)講時情報詳細画面

学生出欠管理システム
教員

科目一覧

- [物理学](#)
(木1部2限 100000000)
- [算術学](#)
(金1部4限 100000001)
- [地理学](#)
(火1部1限 100000002)
- [言語学](#)
- [イベント](#)
- [おしらせ](#)
- [簡易マニュアル](#)
- [情報取扱基準](#)
- [学生指導](#)

① 物理学 (木曜1部2時限 100000000) 講時情報 [出席情報](#)

②

④ 教員名	教員		⑤ 回数	1回
時限	1部	1限	~	2限
⑥ 教室名	<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; margin-right: 5px;"> テスト教室101 教室 教室テストF 教室A 教室B </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;"> 追加>> テスト教室303 テスト教室505 教室テストE </div> </div>			
⑦	休講 <input type="checkbox"/>			
⑧ 開講時間	2007年 12月 01日 09時 00分 ~ 10時 20分			
⑨ 教員打刻	⑩ 開講時間へ取込			
⑪ WB-1S	※可搬タイプのWB-1Sの場合設定する。			
⑫ カード受付時間	開始			終了
⑬ 呼び出しメッセージ	30分前 (09時00分) 6分後 (10時20分) 30分後			
⑭ コメント	コメント00			

⑮ 戻る
⑯ 確定
⑰ 削除

- ① 選択した科目を表示します。
- ② 表示しているページ情報をハイライト表示します。
- ③ 講時情報の詳細内容を表示します。
- ④ 教員名を表示します。
- ⑤ 授業回数を表示します。
- ⑥ 時限情報を設定します。
- ⑦ 教室名を設定します。
 - ・追加を行う場合、左側のリストボックスから教室を選択し、追加ボタンを押下し、右のリストボックスに教室を登録します。
 - ・削除を行う場合、右側のリストボックスから教室を選択し、削除ボタンを押下し教室の削除を行います。
 - ・休講にする場合は、休講チェックボックスにチェックを入れます。
- ⑧ 開始時間、終了時間を設定します。
- ⑨ 教員打刻時間を、表示します。
- ⑩ 教員打刻時間を、開講時間に設定します。
- ⑪ WB-1S 固有 ID を設定します。
- ⑫ カード受付開始、終了時間を設定します。
- ⑬ 呼び出しメッセージを入力します。
- ⑭ コメントを入力します。
- ⑮ 変更をキャンセルし、図 2 講時情報一覧画面を表示します。
- ⑯ 内容をデータベースに登録し、図 2 講時情報一覧画面へ戻ります。
- ⑰ 表示されている内容をデータベースから削除します。

図 4)出席情報一覧画面

学生出欠管理システム

スタッフ

科目一覧

- 物理学 (木曜2時限 100000000)
- 算術学 (金曜4時限 100000001)
- 地理学 (火曜1時限 100000002)
- 言語学
- イベント
- おしらせ
- 簡易マニュアル
- 情報取扱基準
- 学生指導

物理学 (木曜1部2時限 100000000)

講時情報 出席情報

表示形式出力 生データ出力

学籍番号	学生氏名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
00000100	学生1	○	○	○	○	×	○	▲	○	△	○	○	○	×	○	○
00000101	学生2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
00000102	学生3	△	△	○	○	○	○	○	△	○	○	×	○	○	○	○
00000103	学生4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
00000104	学生5	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
00000105	学生6	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	×	▲	○	○

○:出席 ×:欠席 黄色:教員打刻開始以降の打刻 灰色:教員未確定
 △:遅刻 ▲:早退 ピンク:教員終了打刻以降の打刻

- ①科目名を表示します。
- ②表示しているページ情報をハイライト表示します。
- ③現在表示している科目を、指定したファイルを表示している形式で CSV 出力します。
出力フォーマットは「3.14.2.表示形式データ CSV」を参照。
- ④現在表示している科目を、指定したファイルで CSV 出力します。
出力フォーマットは「3.14.1.生データ CSV」を参照。
- ⑤科目を基に、対応する出席情報一覧を表示します。
- ⑥表示している科目を基に、履修している学生の先頭 1 桁を削除した 8 桁の学籍番号を一覧表示します。「学籍番号」を選択することにより学籍番号の昇降順表示を行い、学生毎の学籍番号を選択することにより図 6 学生情報画面が表示されます。
- ⑦表示している科目を基に、履修している学生氏名一覧を表示します。学生氏名を選択することにより図 6 学生情報画面が表示されます。
- ⑧授業回数を表示します。授業回数を選択することにより図 5 出席情報詳細画面が表示されます。
- ⑨科目・授業開始日・開始時限コード・学生情報を基に、対応する出欠判定を表示します。
- ⑩出欠記号と背景色の意味の一覧を表示します。
黄色:教員打刻開始以降の打刻 灰色:教員未確定
ピンク:教員終了打刻以降の打刻

図 5)出席情報詳細画面

学生出欠管理システム

スタッフ

科目一覧

- 物理学 (木曜1部限 100000000)
- 算術学 (金曜4部限 100000001)
- 地理学 (火曜1部限 100000002)
- 言語学
- イベント
- おしらせ
- 簡易マニュアル
- 情報取扱基準
- 学生指導

物理学①(木曜1部2時限 100000000)

講時情報 出席情報

表示形式出力 生データ出力

開講時間 2007年05月29日 11時00分 ~ 12時00分 回数 10回

教室名 教室A, 教室B, 教室C, 教室D

教員名 スタッフ 教員打刻時間 11時00分 ~ 12時00分

学籍番号	氏名	出欠判定	打刻出欠	打刻時間(開始~終了)	コメント
00000100	学生1	×	×		
00000101	学生2	△	△	11時20分 ~ 12時00分	
00000102	学生3	○	○	11時05分 ~ 12時10分	
00000103	学生4	○	○	11時00分 ~ 12時10分	
00000104	学生5	○	▲	11時00分 ~	
00000105	学生6	○	○	11時00分 ~ 12時00分	

○:出席 ×:欠席 △:遅刻 ▲:早退

● 教員打刻開始以降の打刻
● 教員終了打刻以降の打刻
■ 教員未確定

戻る 確定

- ①選択した科目を表示します。
- ②表示しているページ情報をハイライト表示します。講時情報を選択すると、現在表示している講時に対応する図 3 講時情報詳細画面を表示します。
- ③現在表示している講時に対する出欠情報を、指定したファイルを表示している形式で CSV 出力します。
出力フォーマットは「3.14.2.表示形式データ CSV」を参照。
- ④現在表示している講時に対する出欠情報を、指定したファイルを CSV 出力します。
出力フォーマットは「3.14.2.生データ CSV」を参照。
- ⑤科目・授業開始日・開始時限コード・学生情報を基に、対応する講時情報を表示します。
- ⑥授業開始日・開始時間・終了時間を表示します。
- ⑦授業回数を表示します。
- ⑧教室名を表示します。休講情報が設定されている場合は、「休講」を表示します。
- ⑨現在表示している科目を基に、対応する教員名を表示します。教員名を選択することにより図 7 教員情報画面を表示します。
- ⑩教員の開始打刻時間・終了打刻時間を表示します。
- ⑪表示している科目を基に、履修している学生の先頭 1 桁を削除した 8 桁の学籍番号を一覧表示します。「学籍番号」を選択することにより学籍番号の昇降順表示を行い、学生毎の学籍番号を選択することにより図 6 学生情報画面が表示されます。

- ⑫表示している科目を基に、履修している学生氏名を一覧表示します。学生氏名を選択することにより、学生毎の図 6 学生情報画面を表示します。
- ⑬科目・授業開始・開始時限コード・学生情報を基に、対応する出欠判定情報を設定します。
- ⑭科目・授業開始・開始時限コード・学生情報を基に、対応する打刻出欠情報を表示します。
- ⑮科目・授業開始日・開始時限コード・学生情報を基に、対応する開始打刻時間・終了時間を表示します。「開始」と「終了」を選択する事で時間の昇降順に表示します。
- ⑯科目・授業開始日・開始時限コード・学生情報を基に、対応するコメントを入力します。
- ⑰出欠記号と背景色の意味の一覧を表示します。
 - 黄色:教員打刻開始以降の打刻
 - ピンク:教員終了打刻以降の打刻
 - 灰色:教員未確定
- ⑱変更をキャンセルし、図 4 出席情報一覧画面へ戻ります。
- ⑲内容をデータベースに登録し、図 4 出席情報一覧画面へ戻ります。

図 6)学生情報画面

学生出欠管理システム

スタッフ

講時情報 出席情報

科目一覧

- 物理学 (木曜1部2時限 10000000)
- 算術学 (金曜1部4限 10000001)
- 地理学 (火曜1部1限 10000002)
- 言語学

■ イベント

■ おしらせ

■ 簡易マニュアル

■ 情報取扱基準

■ 学生指導

物理学 (木曜1部2時限 10000000)

学籍番号 00000102 氏名 学生3 呼び出しメッセージ

回数	日付	時限	出欠判	打刻出欠	打刻時間(開始～終了)
1	2007年03月01日	1部2時限	△	△	10時30分 ~ 10時50分
2	2007年03月13日	1部2時限	△	×	
3	2007年04月10日	1部3時限	○	○	11時00分 ~ 12時00分
4	2007年04月17日	1部3時限	○	○	11時00分 ~ 12時00分
5	2007年04月24日	1部3時限	▲	▲	11時00分 ~
6	2007年05月01日	1部3時限	○	○	11時00分 ~ 12時00分
7	2007年05月08日	1部3時限	○	○	11時00分 ~ 12時05分
8	2007年05月15日	1部3時限	△	○	11時00分 ~ 12時00分
9	2007年05月22日	1部3時限	○	○	11時00分 ~ 12時00分
10	2007年05月29日	1部3時限	○	○	11時05分 ~ 12時10分
11	2007年06月05日	1部3時限	○	○	11時00分 ~ 12時00分
12	2007年06月12日	1部3時限	○	○	11時00分 ~ 12時00分
13	2007年06月19日	1部3時限	○	○	11時10分 ~ 12時00分
14	2007年06月26日	1部3時限	○	○	11時00分 ~ 12時00分
15	2007年07月03日	1部8時限	○	○	11時00分 ~ 12時00分

○:出席 ×:欠席 △:遅刻 ▲:早退

黄色:教員打刻開始以降の打刻
 ピンク:教員終了打刻以降の打刻
 灰色:教員未確定

戻る 確定

- ①選択した科目を表示します。
- ②表示しているページ情報をハイライト表示します。
- ③籍番号を基に、学生情報を表示します。
- ④先頭1桁を削除した8桁の学籍番号を表示します。
- ⑤学生氏名を表示します。
- ⑥呼び出しメッセージを入力します。
- ⑦授業回数を表示します。「回数」を選択することにより回数の昇降順表示を行い、学生毎の回数を選択することにより図5 出席情報詳細画面が表示されます。
- ⑧授業日を表示します。学生毎の授業日を選択することにより図5 出席情報詳細画面が表示されます。
- ⑨時限情報を表示します。
- ⑩科目・授業開始・開始時限コード・学生情報を基に、対応する出欠判定情報を設定します。
- ⑪科目・授業開始・開始時限コード・学生情報を基に、対応する打刻出欠情報を表示します。
- ⑫科目・授業開始日・開始時限コード・学生情報を基に、対応する開始打刻時間・終了時間を表示します。「開始」と「終了」を選択する事で時間の昇降順に表示します。
- ⑬出欠記号と背景色の意味の一覧を表示します。
 黄色:教員打刻開始以降の打刻
 ピンク:教員終了打刻以降の打刻
 灰色:教員未確定
- ⑭変更をキャンセルし、図5 出席情報詳細画面へ戻ります。
- ⑮内容をデータベースに登録し、図4 出席情報一覧画面または図5 出席情報詳細画面へ戻ります。

図 7) 教員情報画面

学生出欠管理システム

スタッフ

講時情報 出席情報

科目一覧

- 物理学 (木曜1部2時限 100000000)
- 算術学 (金1部4時限 100000001)
- 地理学 (火1部1時限 100000002)
- 言語学
- イベント
- お知らせ
- 簡易マニュアル
- 情報取扱基準
- 学生指導

物理学 (木曜1部2時限 100000000)

籍番号	氏名	呼び出しメッセージ
00000001	スタッフ	

戻る 確定

- ① 選択した科目を表示します。
- ② 表示しているページ情報をハイライト表示します。
- ③ 籍番号を基に、教員情報を表示します。
- ④ 先頭 1 桁を削除した 8 桁の籍番号を表示します。
- ⑤ 教員氏名を表示します。
- ⑥ 呼び出しメッセージを入力します。
- ⑦ 変更をキャンセルし、図 5 出席情報詳細画面へ戻ります。
- ⑧ 内容をデータベースに登録し、図 5 出席情報詳細画面へ戻ります。

図 8) イベント情報一覧画面

学生出欠管理システム スタッフ

科目一覧

- [物理学](#)
(未登録 100000000)
- [算術学](#)
(未登録 100000001)
- [地理学](#)
(未登録 100000002)
- [言語学](#)
- [イベント](#)
- [お知らせ](#)
- [簡易マニュアル](#)
- [情報取扱基準](#)
- [学生指導](#)

イベント一覧

⑤

① 選択	② 回数	③ 開催日時	④ コメント
<input type="checkbox"/>	1	2007年06月11日 09時00分	コメント1
<input type="checkbox"/>	2	2007年06月21日 11時00分	コメント2
<input type="checkbox"/>	3	2007年10月09日 16時03分	コメント3

⑥
授業登録済み

- ① CSV で出力を行いたいイベントを選択します。
- ② イベント番号を表示します。イベント番号を選択することにより図 9 イベント詳細画面が表示されます。
- ③ イベントの開催日時を表示します。開催日時を選択することにより図 9 イベント詳細画面が表示されます。
- ④ イベントのコメントを表示します。コメントを選択することにより図 9 イベント詳細画面が表示されます。
- ⑤ ①で選択された項目(選択がされなかった場合は全て)を CSV 形式で出力します。
- ⑥ 背景色の意味の一覧を表示します。
黄色:授業登録済み

図 9) イベント詳細画面

学生出欠管理システム
スタッフ

科目一覧

- [物理学](#)
(未登録 100000000)
- [算術学](#)
(金1部4限 100000001)
- [地理学](#)
(次1部1限 100000002)
- [言語学](#)
- [イベント](#)
- [おしらせ](#)
- [簡易マニュアル](#)
- [情報取扱基準](#)
- [学生指導](#)

イベント詳細

① CSV出力 ② 授業登録

開催日時	③	2007年06月21日 11時00分～11時58分
コメント	④	コメント2

籍番号	氏名	打刻時間
⑤ 000000010	⑥ スタッフ	⑦ 11時07分

戻る 確定
⑧ ⑨

- ① 現在表示されているイベント情報を CSV 形式で出力する。
- ② 「授業登録」ボタンを押下すると、図 10 イベント授業新規登録画面を表示します。
- ③ イベントの開始日時を表示します。
- ④ イベントに対応するコメントを入力します。
- ⑤ 籍番号を表示する。籍番号を選択すると、籍番号でソートを行います。
- ⑥ 氏名の表示を行います。
- ⑦ 打刻時間を表示します。打刻時間を選択すると、打刻時間でソートを行います。
- ⑧ 「戻る」ボタンを押下すると、図 8 イベント一覧画面に戻ります。
- ⑨ 「確定」ボタンを押下すると、④で入力したコメントを DB に登録し、図 8 イベント一覧画面が表示されます。

科目一覧

- 物理学
(未)部限 100000000)
- 算術学
(全)部限 100000001)
- 地理学
(火)部限 100000002)
- 言語学
- イベント
- おしらせ
- 簡易マニュアル
- 情報取扱基準
- 学生指導

イベント授業登録

科目名	<input type="text" value=""/>	教員名	スタッフ
教室名	教室 教室A 教室B 教室C 教室D	<input type="button" value="追加>>"/> <input type="button" value="削除<<"/>	
休講	<input type="checkbox"/>		
時限	部	限~	限
開講時間	2007年 06月 21日	11時 00分	11時 58分
WB-1S	126	※可搬タイプのWB-1Sの場合設定する。	
カード受付時間	開始	終了	
	11時 00分	11時 58分	11時 58分
呼び出しメッセージ	<input type="text" value=""/>		
コメント	<input type="text" value=""/>		
	<input type="button" value="戻る"/>	<input type="button" value="確定"/>	

- ① 教員が担当している科目一覧から科目名を選択します。
- ② 教員名が表示されます。
- ③ 教室名をリストに追加します。
- ④ ③で追加した教室名を解除します。
- ⑤ 休講かチェックします。
- ⑥ 部、時限を選択します。
- ⑦ 開講時間を選択します。登録を行うイベントの値がデフォルトで設定されます。
- ⑧ 可搬タイプの場合 WB-1S を設定します。
- ⑨ カード受付時間を設定します。登録を行うイベントの値がデフォルトで設定されます。
- ⑩ 呼び出しメッセージを設定します。
- ⑪ コメントを設定します。
- ⑫ 「戻る」ボタンを押下すると、図 9 イベント詳細画面に戻ります。
- ⑬ 「確定」ボタンを押下すると、DB に値を登録し、図 9 イベント詳細画面が表示されます。



- ① 学生打刻検索を選択することにより、図12学生打刻検索画面が表示されます。
- ② 監視リスト表示を選択することにより、図14監視リスト表示画面が表示されます。

学生出欠管理システム

テスト教員 1 1

学生指導

- [学生打刻検索](#)
- [監視リスト表示](#)

学生打刻検索

学部	①	<input type="text"/>
② 学科(クラス)・専攻	②	<input type="text"/>
入学年度	③	<input type="text"/> 年
打刻回数	④	<input type="text"/> 回以下
学籍番号	⑦	<input type="text"/>
期間	⑤	2008年10月01日～2008年10月28日

検索 ⑥

- ① 教員に対応した学部が表示され、選択を行います。
- ② 選択された学部によって、学科(クラス)・専攻が表示され、選択を行います。
- ③ 入学年度を入力します。
- ④ 打刻回数を入力します。
- ⑤ 検索する期間を選択します。
- ⑥ 検索ボタンを押下すると、図13学生打刻検索結果画面が表示されます。
- ⑦ 学籍番号を入力します。

学生出欠管理システム

教員

学生指導

- [学生打刻検索](#)
- [監視リスト表示](#)

学生打刻検索

学部	<input type="text"/>
学科(クラス)・専攻	<input type="text"/>
入学年度	<input type="text"/> 年
打刻回数	0 回以下
学籍番号	<input type="text"/>
期間	2008年 10月 01日 ~ 2008年 10月 28日

<input type="button" value="全選択"/>	<input type="button" value="全解除"/>	<input type="button" value="CSV出力"/>	<input type="button" value="リスト追加"/>
<input type="checkbox"/>	学籍番号 ^⑤	氏名	打刻回数 ^⑥
<input type="checkbox"/>	20000001 ^⑦	Test学生1 ^⑧	0
<input type="checkbox"/>	20000002	Test学生2	0
<input type="checkbox"/>	20000003	Test学生3	0

^⑨

- ① 全選択ボタンを押下すると、全てのチェックボックスをチェックします。
- ② 全解除ボタンを押下すると、全てのチェックボックスのチェックを外します。
- ③ CSV出力ボタンを押下すると、チェックが入っている学生をCSVに出力します。
チェックがない場合は、表示している全学生をCSVに出力します。
- ④ リスト追加ボタンを押下すると、選択されてある学生を監視リストに追加します。
- ⑤ ヘッダー部、学籍番号リンクを押下すると、学籍番号でソートを行います。
- ⑥ ヘッダー部、打刻回数リンクを押下すると、打刻回数でソートを行います。
- ⑦ データ部、学籍番号リンクを押下すると、図17学生詳細画面を表示します。
- ⑧ データ部、氏名リンクを押下すると、図17学生詳細画面を表示します。
- ⑨ 戻るボタンを押下すると、図11学生指導トップ画面を表示します。

学生出欠管理システム

Test教員11

学生指導

■ [学生打刻検索](#)■ [監視リスト表示](#)

監視リスト表示

■監視リスト

①
 ②
 ③
 ④
 ⑤
 ⑥

<input type="checkbox"/>	学籍番号 ⑦	氏名	呼び出しメッセージ	打刻回数 ⑧	基準日 ⑨
<input type="checkbox"/>	20000001 ⑩	Test学生1 ⑪	あいうえお	0	2008年03月08日
<input type="checkbox"/>	20000002	Test学生2	111123	2	2007年01月08日

監視後に学生打刻済み
 ⑫
 ⑬

除外している学生がいません。

- ① 全選択ボタンを押下すると、全てのチェックボックスをチェックします。
- ② 全解除ボタンを押下すると、全てのチェックボックスのチェックを外します。
- ③ 学生を選択し、↓除外を押下すると、図15除外リスト表示画面に選択された学生が移動されます。
- ④ アドレス変更ボタンを押下すると、入力ダイアログが表示され、入力した値をログインしている教員のメールアドレスとして設定します。
- ⑤ 学生を選択し、一括メッセージ変更ボタンを押下すると、入力ダイアログが表示され、入力した値を呼び出しメッセージに設定します。(※学生を選択しない場合は、エラーダイアログが表示されません。)
- ⑥ メール送信ボタンを押下すると、図16メール送信入力画面が表示されます。
- ⑦ ヘッダー部、学籍番号リンクを押下すると、学籍番号でデータをソートします。
- ⑧ ヘッダー部、打刻回数リンクを押下すると、打刻回数でデータをソートします。
- ⑨ ヘッダー部、基準日リンクを押下すると、基準日でデータをソートします。
- ⑩ データ部、学籍番号リンクを押下すると、図17学生詳細画面を表示します。
- ⑪ データ部、氏名リンクを押下すると、図17学生詳細画面を表示します。
- ⑫ 確定ボタンを押下すると、変更された値を登録します。
- ⑬ 学生を選択し、削除ボタンを押下すると、監視リストから学生情報を削除します。

学生出欠管理システム
Test教員11

学生指導

- [学生打刻検索](#)
- [監視リスト表示](#)

監視リスト表示

■監視リスト

全選択
全解除
↓除外
アドレス変更
一括メッセージ変更
メール送信

学	学籍番号	氏名	呼び出しメッセージ	打刻回数	基準日
<input type="checkbox"/>	20000002	Test学生2	111123①	2	2007年01月08日

監視後に学生打刻済み 確定 削除

■除外リスト

全選択 ①
全解除 ②
↑監視 ③

学籍番号	氏名	学籍番号	氏名	学籍番号	氏名
<input type="checkbox"/>	20000001 ④	Test学生1 ⑤	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

削除 ⑥

- ① 全選択ボタンを押下すると、全てのチェックボックスをチェックします。
- ② 全解除ボタンを押下すると、全てのチェックボックスのチェックを外します。
- ③ 学生を選択し、↑監視を押下すると、図14監視リスト表示画面に選択された学生が移動されます。
- ④ データ部、学籍番号リンクを押下すると、図17学生詳細画面を表示します。
- ⑤ データ部、氏名リンクを押下すると、図17学生詳細画面を表示します。
- ⑥ 学生を選択し、削除ボタンを押下すると、監視リストから学生情報を削除します。

件名：①

本文：②

↑
↓

キャンセル

送信

③

④

- ① 件名に値を入力します。
- ② 本文に値を入力します。
- ③ キャンセルボタンを押下すると、メール送信を中止し、メール送信入力画面を閉じます。
- ④ 送信ボタンを押下すると、入力した内容でメールが送信されます。

学生出欠管理システム

Test教員11

学生情報詳細

① 学籍番号	20000001
② 氏名	Test学生1
③ 学部・学科(クラス)・専攻	学部名 1 学科名称 1
④ 入学年度	02年
⑤ 呼び出しメッセージ	あいうえお～

◆ 出欠状況

⑥ 科目名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
⑦ 物理学	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
数学	×	×																			

■ 教員未確定

◆ PC利用状況

⑧ ログイン日時	ログインPC名
2008年02月02日 11時11分	PC11
2008年02月02日 11時11分	PC1

◆ 図書状況

⑨ 貸出日	返却日	書籍名
2008年02月22日	2008年02月23日	戸田絵日記
2008年02月07日		ABCD
2008年02月06日		ABC
2008年02月05日	2008年02月06日	ABCDE
	2008年02月05日	絵日記
	2008年02月06日	書籍の巻

⑩ 閉じる

- ① 学籍番号を表示します。
- ② 学生氏名を表示します。
- ③ 学部・学科名を表示します。
- ④ 入学年度を表示します。
- ⑤ 呼び出しメッセージを表示します。
- ⑥ 学生の出欠情報を表示します。
- ⑦ 科目名リンクを押下すると、図18出欠情報画面が表示されます。
- ⑧ PC 利用状況をログイン日時の降順で表示します。
- ⑨ 図書状況を貸出日の降順で表示します。
- ⑩ 閉じるボタンを押下すると、画面が閉じられます。

学生指導

■ [学生打刻検索](#)■ [監視リスト表示](#)

数学

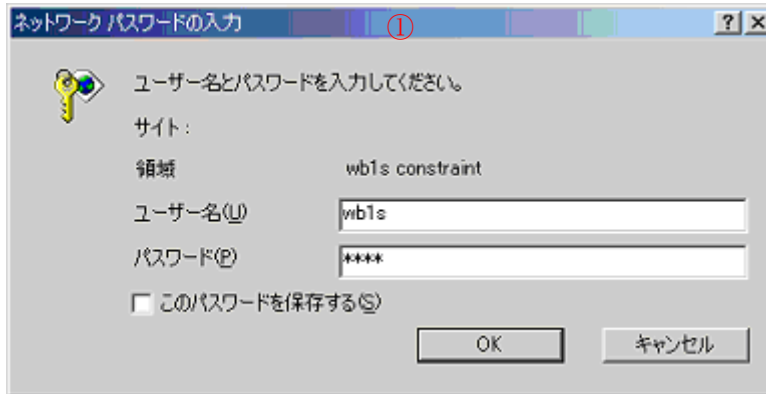
学籍番号	00000100
氏名	学生 1
学部・学科(クラス)・専攻	学部A 学科A-2
入学年度	0年

回数	日付	時限	出欠判定	打刻時間(開始～終了)
1	2007年01月01日	1部1時限	×	
2	2007年01月02日	1部1時限	×	

出欠情報が表示されます。

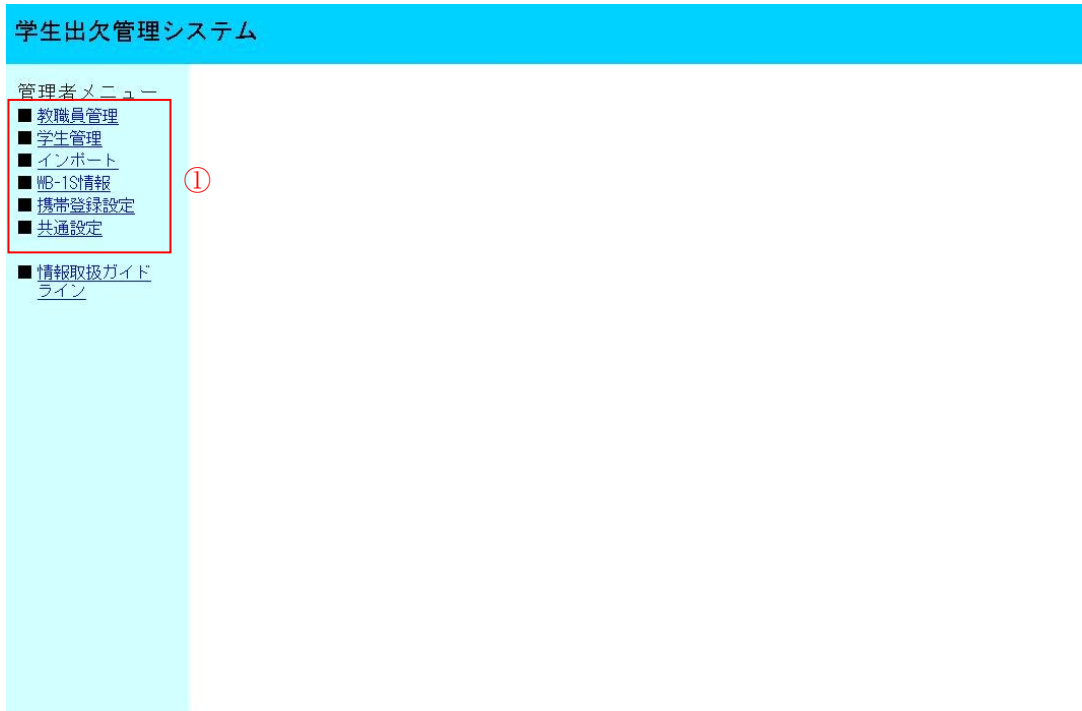
3.2. 管理者用閲覧画面

図 1) ログイン画面



①ログインに成功した場合、図 2 トップ画面を表示します。

図 2) トップ画面



①管理者メニューを表示します。

教職員管理を選択した場合、図 3 教職員検索画面を表示します。

学生管理を選択した場合、図 6 学生検索画面を表示します。

インポートを選択した場合、図 9 インポート画面を表示します。

WB-1S 情報を選択した場合、図 10 WB-1S 検索画面を表示します。

携帯登録設定を選択した場合、図 14 携帯登録一覧画面を表示します。

共通設定を選択した場合、図 17 共通設定画面を表示します。

図 3)教職員検索画面

学生出欠管理システム

管理者メニュー

- [教職員管理](#)
- [学生管理](#)
- [インポート](#)
- [WB-1S情報](#)
- [携帯登録設定](#)
- [共通設定](#)

- [情報取扱ガイド](#)
ライン

教職員管理

氏名: ① 籍番号: ②

①検索条件を入力します。

②①で入力した検索条件を基に検索結果を表示します。検索条件は、氏名が選択されている場合は氏名で、籍番号が選択されている場合は籍番号で行います。

図 4)教職員検索結果表示画面



- ①検索条件に一致する、教員情報一覧を表示します。
- ②検索条件に一致した教職員の籍番号一覧を表示します。籍番号は先頭1桁を削除した8桁で表示します。籍番号を選択することにより籍番号に対応した図5教職員詳細画面を表示します。
- ③籍番号に対応した氏名を表示します。氏名を選択することにより籍番号に対応した図5教職員詳細画面を表示します。
- ④籍番号に対応した呼び出しメッセージを表示します。メッセージを選択することにより籍番号に対応した図5教職員詳細画面を表示します。
- ⑤図3教職員検索画面へ戻ります。

図 5)教職員詳細画面



- ①籍番号を基に、教職員情報を表示します。
- ②先頭 1 桁を削除した 8 桁の籍番号を表示します。
- ③氏名を表示します。
- ④呼び出しメッセージを表示します。
- ⑤IDmの登録番号を表示します。
- ⑥籍番号を基に、対応する IDmを表示します。
- ⑦IDmに対応するコメントが表示されます。
- ⑧IDmの削除有無情報を表示します。IDmを削除する場合、チェックします。
- ⑨変更をキャンセルし、図 4 教職員検索結果表示画面へ戻ります。
- ⑩内容をデータベースに登録します。削除がチェックされている場合は、該当する IDmを削除し図 4 教職員検索結果表示画面へ戻ります。

図 6)学生検索画面

学生出欠管理システム

管理者メニュー

- 教職員管理
- 学生管理
- インポート
- WB-1st情報
- 携帯登録設定
- 共通設定
- 情報取扱ガイドライン

学生管理

● 氏名: ○ 籍番号:

① ② 検索

①検索条件を入力します。

②検索条件を基に部分一致検索を行い、結果を表示します。検索条件は、氏名が選択されている場合は氏名で、籍番号が選択されている場合は籍番号で行います。

図 7)学生検索結果表示画面

学生出欠管理システム

管理者メニュー

- 教職員管理
- **学生管理**
- インポート
- WB-1S1情報
- 携帯登録設定
- 共通設定
- 情報取扱ガイド
ライン

学生管理

○ 氏名: ○ 籍番号:

学籍番号 ②	氏名 ③	呼び出しメッセージ ④
00000100	学生1	
00000101	学生2	
00000102	学生3	

⑤

- ①検索条件に一致する学生情報一覧を表示します。
- ②検索条件に一致した学生の籍番号一覧を表示します。籍番号は先頭 1 桁を削除した 8 桁で表示します。籍番号を選択することにより籍番号に対応した図 8 学生詳細画面を表示します。
- ③籍番号に対応した氏名を表示します。氏名を選択することにより籍番号に対応した図 8 学生詳細画面を表示します。
- ④籍番号に対応したメッセージを表示します。メッセージを選択することにより籍番号に対応した図 8 学生詳細画面を表示します。
- ⑤図 6 学生検索画面に戻ります。

図 8)学生詳細画面

学生出欠管理システム

管理者メニュー

- 教職員管理
- **学生管理**
- インポート
- WB-1S情報
- 携帯登録設定
- 共通設定
- [情報取扱ガイド](#)
- [ライン](#)

学生管理

氏名:
 籍番号:

学籍番号 ①	氏名 ②	呼び出しメッセージ ④
00000100	学生1	

No. ⑤	IDm ⑥	コメント ⑦	削除 ⑧
(1)	01010601a9095522	コメント1	<input type="checkbox"/>
(2)	01010601a9095523	コメント2	<input type="checkbox"/>

- ①籍番号を基に、学生情報を表示します。
- ②先頭 1 桁を削除した 8 桁の籍番号を表示します。
- ③氏名を表示します。
- ④呼び出しメッセージを表示します。
- ⑤IDmの登録番号を表示します。
- ⑥籍番号を基に、対応する IDmを表示します。
- ⑦IDmに対応するコメントを表示します。
- ⑧IDmの削除有無情報を表示します。IDmを削除する場合、チェックします。
- ⑨変更をキャンセルし、図 7 学生検索結果表示画面へ戻ります。
- ⑩内容をデータベースに登録します。削除がチェックされている場合は、該当する IDmを削除し図 7 学生検索結果表示画面へ戻ります。

図 9)インポート画面

学生出欠管理システム

インポート

①

② インポートデータ 科目対応情報

③ タイプ 差分追加 全置換

④ 入力ファイル 参照...

取り込み

⑤

管理者メニュー

- 教職員管理
- 学生管理
- インポート
- WB-1S情報
- 携帯登録設定
- 共通設定

■ 情報取扱ガイド
ライン

- ①インポート情報を表示します。
- ②インポートするデータ種別をリストボックス内に表示します。
リストボックスの設定内容は下記に記します。
 - ・科目対応情報
 - ・授業情報
 - ・科目一覧情報
 - ・教室一覧情報
 - ・設置位置一覧情報
 - ・時限情報
 - ・学部学科対応情報
 - ・学部一覧情報
 - ・学科一覧情報
- ③インポートタイプを表示します。
インポートタイプは下記に記します。
 - ・差分追加(デフォルト値)
 - ・全置換
- ④インポートする CSV ファイルを選択します。
- ⑤インポートを実行します。

学生出欠管理システム

管理者メニュー

- [教職員管理](#)
- [学生管理](#)
- [インポート](#)
- [WB-1S情報](#)
- [携帯登録設定](#)
- [共通設定](#)

- [情報取扱ガイドライン](#)

WB-1S情報

教室名: リーダーID:

- ① 検索条件を入力します。
- ② 検索条件を基に完全一致検索を行い、結果を表示します。検索条件が省略されている場合は、全件表示します。
- ③ 図 13 WB-1S 新規登録画面を表示します。

図 11)WB-1S 検索結果表示画面

学生出欠管理システム

管理者メニュー
 ■ 教職員管理
 ■ 学生管理
 ■ インポート
 ■ WB-1S情報
 ■ 携帯登録設定
 ■ 共通設定
 ■ 情報取扱ガイド
 ライン

WB-1S情報

◎ 教室名: 教室テスト ▼ ○ リーダID:

検索 新規登録

一覧表示 ①

更新日時: 2007/10/18 18:38:50

リーダーID ③	教室 ④	設置位置 ⑤	状態 ⑥	削除 ⑦
001	教室テスト	前00	NG	<input type="checkbox"/>
002	教室テスト	前01	NG	<input type="checkbox"/>

削除 ⑧

- ①検索条件に一致する、WB-1S 情報を表示します。
- ②検索を行った時間を表示します。
- ③検索条件に一致したリーダー ID の一覧を表示します。リーダー ID を選択することにより、リーダー ID に対応した図 12 を表示します。
- ④リーダー ID に対応した教室名を表示します。
- ⑤リーダー ID に対応した設置位置を表示します。
- ⑥リーダー ID に対応した状態を表示します。
 状態は状態判定情報と現在の時刻を比較し、判定時間以上経過している場合は「NG」、経過していない場合は「OK」と表示します。
- ⑦リーダー ID の削除有無情報を表示します。リーダー ID を削除する場合、チェックします。
- ⑧削除がチェックされている場合は、該当するリーダー ID を削除し図 10 WB-1S 検索画面へ戻ります。

図 12)WB-1S 編集画面

学生出欠管理システム

管理者メニュー

- 教職員管理
- 学生管理
- インポート
- WB-1S情報
- 携帯登録設定
- 共通設定
- 情報取扱ガイド
- ライン

WB-1S情報

◎教室名: 教室テスト ○リーダーID:

編集 ①

②	リーダーID	001
③	IPアドレス	10 . 0 . 0 . 1
④	サブネットマスク	255 . 255 . 0 . 0
⑤	デフォルトゲートウェイ	10 . 0 . 0 . 2
⑥	DNSサーバ	10 . 0 . 0 . 3
⑦	NTPサーバ	10 . 0 . 0 . 4
⑧	教室名	教室テスト
⑨	設置位置	前00
⑩	再起動時刻	23 時 40 分

⑪

- ① 選択したリーダー ID の詳細情報を設定します。
- ② 選択したリーダー ID を表示します。
- ③ IP アドレスを設定します。
- ④ サブネットマスクを設定します。
- ⑤ デフォルトゲートウェイを設定します。
- ⑥ DNS サーバを設定します。
- ⑦ NTP サーバを設定します。
- ⑧ 教室名を設定します。
- ⑨ 設置位置を設定します。
- ⑩ 再起動時間を設定します。
- ⑪ 内容をデータベースに登録し、図 11 WB-1S 検索結果表示画面に戻ります。

図 13)WB-1S 新規登録画面

学生出欠管理システム

管理者メニュー

- 教職員管理
- 学生管理
- インポート
- WB-1S情報
- 携帯登録設定
- 共通設定
- 情報取扱ガイド
 ライン

WB-1S情報

◎教室名： 教室テスト ▼ ○リーダーID：

新規登録 ①

②	リーダーID	<input type="text"/>
③	IPアドレス	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>
④	サブネットマスク	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>
⑤	デフォルトゲートウェイ	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>
⑥	DNSサーバ	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>
⑦	NTPサーバ	<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>
⑧	教室名	<input type="text"/> ▼
⑨	設置位置	<input type="text"/> ▼
⑩	再起動時刻	<input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分

⑪

- ①WB-1S の新規登録画面を表示します。
- ②新規登録する WB-1S のリーダー ID を表示します。
- ③新規登録する WB-1S の IP アドレスを設定します。
- ④新規登録する WB-1S のサブネットマスクを設定します。
- ⑤新規登録する WB-1S のデフォルトゲートウェイを設定します。
- ⑥新規登録する WB-1S の DNS サーバを設定します。
- ⑦新規登録する WB-1S の NTP サーバを入力します。
- ⑧新規登録する WB-1S の教室名を設定します。
- ⑨新規登録する WB-1S の設置位置を設定します。
- ⑩新規登録する WB-1S の再起動時間を設定します。
- ⑪内容をデータベースに登録し、図 10 WB-1S 検索画面へ戻ります。

図 14)携帯登録一覧画面

学生出欠管理システム

管理者メニュー

- [教職員管理](#)
- [学生管理](#)
- [インポート](#)
- [WB-1S情報](#)
- [携帯登録設定](#)
- [共通設定](#)
- [情報取扱ガイド](#)
- [ライン](#)

携帯登録設定

携帯登録可能なIDmを設定します。

IDm ①	コメント ②	削除 ③
1112	コメント1	<input type="checkbox"/>
1120	コメント2	<input type="checkbox"/>
1212	コメント3	<input type="checkbox"/>

新規登録 削除

- ① IDm を表示します。IDm を選択すると、図 16 携帯登録変更画面を表示します。
- ② コメントを表示します。コメントを選択すると、図 16 携帯登録変更画面を表示します。
- ③ 削除を行いたい項目を選択します。
- ④ 「新規登録」ボタンを押下すると、図 15 携帯新規登録画面が表示されます。
- ⑤ ③で選択した項目を⑤「削除」ボタンを押下によって削除を行います。

図 15) 携帯新規登録画面

学生出欠管理システム

管理者メニュー

- 教職員管理
- 学生管理
- インポート
- WB-1st情報
- 携帯登録設定
- 共通設定

- 情報取扱ガイド
ライン

携帯登録設定

IDm ①	コメント ②
<input type="text"/>	<input type="text"/>

新規登録 ③

- ① IDm を設定します。
- ② コメントを設定します。
- ③ 「新規登録」ボタンを押下にて、①②で入力された項目を DB に登録します。登録完了後、図 14 携帯登録一覧画面を表示します。

図 16)携帯登録変更画面

学生出欠管理システム

管理者メニュー

- 教職員管理
- 学生管理
- インポート
- WB-1st情報
- 携帯登録設定
- 共通設定

- 情報取扱ガイド
ライン

携帯登録設定

IDm ①	コメント ②
1112	コメント1

確定 ③

- ① IDm を設定します。
- ② コメントを設定します。
- ③ 「確定」ボタンを押下すると、①②にて入力された値を DB に登録し、図 14 携帯登録一覧画面に遷移します。

図 17)共通設定画面

学生出欠管理システム

管理者メニュー

- [教職員管理](#)
- [学生管理](#)
- [インポート](#)
- [WB-1S情報](#)
- [携帯登録設定](#)
- [共通設定](#)

- [情報取扱ガイド](#)
- [ライン](#)

共通設定

●WB-1S
① ・WB-1Sの状態がNGの場合のメール送信情報

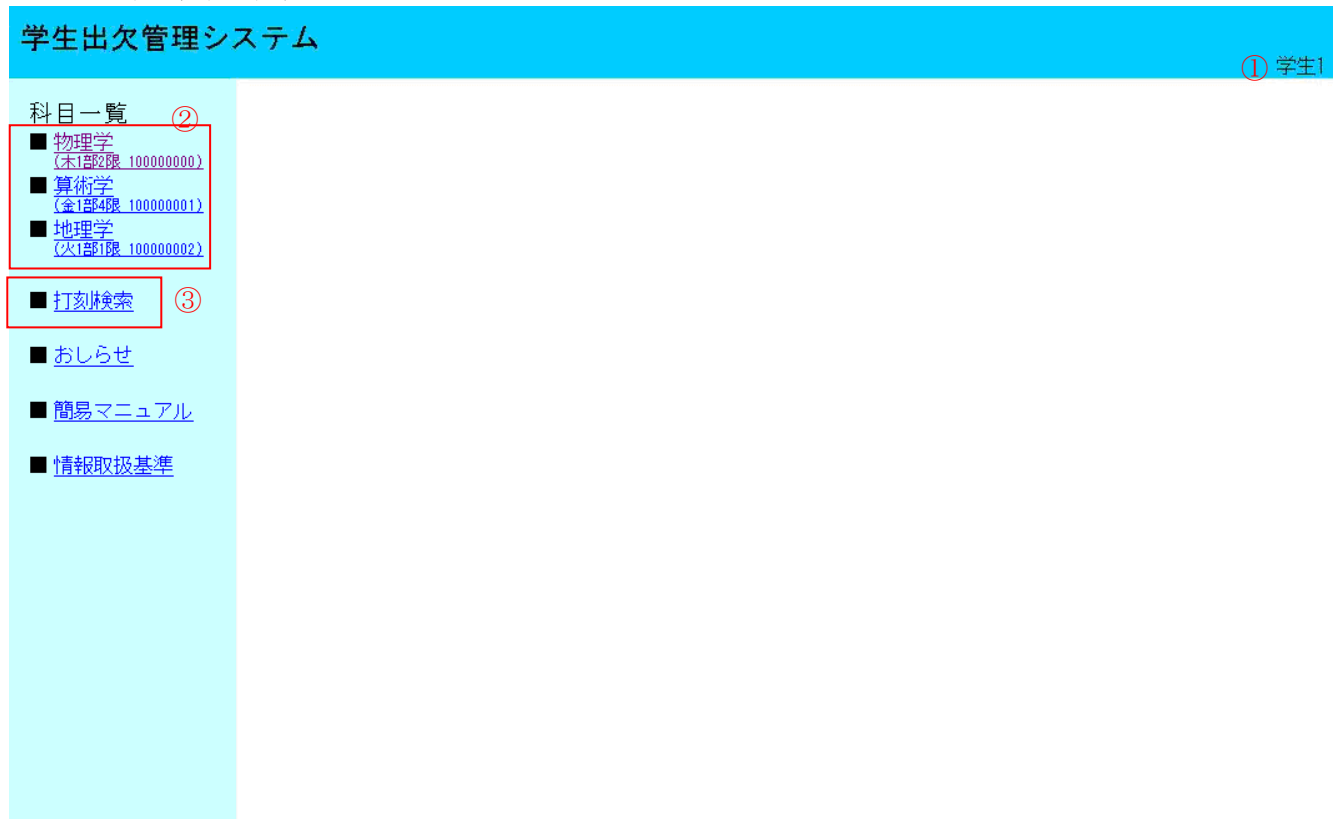
②	メールアドレス	<input style="width: 90%;" type="text"/>
③	件名	<input style="width: 90%;" type="text"/>
④	メールサーバ	<input style="width: 20%;" type="text"/> . <input style="width: 20%;" type="text"/> . <input style="width: 20%;" type="text"/> . <input style="width: 20%;" type="text"/>
⑤	チェック間隔	<input style="width: 20%;" type="text"/> 分 (範囲：10-1440) ※状態をチェックする間隔を設定します。
⑥	判定時間	<input style="width: 20%;" type="text"/> 分 (範囲：10-1440) ※設定時間以上経過しても更新されない場合NGとします。

⑦

- ①WB-1S の状態が NG の場合のメール送信情報を設定します。
- ②WB-1S の状態が NG の場合に送信するメールアドレスを入力します。
- ③WB-1S の状態が NG の場合に送信するメールの件名を入力します。
- ④WB-1S の状態が NG の場合に送信するメールサーバを入力します。
- ⑤WB-1S の状態をチェックする間隔を入力します。
- ⑥WB-1S の状態を判定する時間を入力します。
- ⑦内容をデータベースに登録します。

3.3. 学生用閲覧画面

図 1)トップ画面



①ログインしている学生氏名を表示します。

②ログインしている学生の籍番号を基に履修している科目情報一覧表示します。

科目一覧から科目を選択することにより図 2 講時・出席情報一覧画面が表示されます。

③打刻検索を選択することにより図 5 打刻検索画面が表示されます。

図 2) 講時・出席情報一覧画面

学生出欠管理システム 学生1

科目一覧 講時情報 出席情報

■ 物理学 (木1部2時限 100000000) ②

■ 算術学 (金1部4時限 100000001)

■ 地理学 (火1部1時限 100000002)

■ 打刻検索

■ おしらせ

■ 簡易マニュアル

■ 情報取扱基準

物理学 ①(木曜1部2時限 100000000)

④	回数	⑤	日付	⑥	時限	⑦	教室	⑧	出欠	⑨	コメント
	1		2007年04月10日		1部3-4時限		2101		○		
	2		2007年04月17日		1部3-4時限		2101		○		
	3		2007年04月24日		1部3-4時限		2101		○		
	4		2007年05月01日		1部3-4時限		2101		○		小テスト
	5		2007年05月08日		1部3-4時限		2101		×		
	6		2007年05月15日		1部3-4時限		2101		○		
	7		2007年05月22日		1部3-4時限		2101		○		
	8		2007年05月29日		1部3-4時限		2101		○		
	9		2007年06月05日		1部3-4時限		2101		○		小テスト
	10		2007年06月12日		1部3-4時限		2101		○		
	11		2007年06月19日		1部3-4時限		2101		△		
	12		2007年06月26日		1部3時限		2101		○		
	13		2007年07月03日		1部8-10時限		2101		▲		

○:出席 ×:欠席
△:遅刻 ▲:早退

- ①科目名を表示します。
- ②表示しているページ情報を表示します。
- ③講時情報一覧を授業開始日と時限で昇順ソートし表示します。
- ④授業回数は、1から登録している授業数まで表示する。授業回数を選択することにより、授業回数に対応した図 4 出席情報詳細画面を表示します。
- ⑤授業開始日を表示します。日付を選択することにより、授業回数に対応した図 3 講時情報詳細画面を表示します。
- ⑥時限表示します。
- ⑦教室名称を表示します。
- ⑧出欠判定を表示します。出欠を選択することにより、授業回数に対応した図 4 出席情報詳細画面が表示されます。
- ⑨コメントを表示します。
- ⑩出欠記号の意味の一覧を表示します。

図 3)講時情報詳細画面

学生出欠管理システム
学生1

科目一覧

- [物理学](#)
(木1部2限 10000000)
- [算術学](#)
(金1部4限 10000001)
- [地理学](#)
(火1部1限 10000002)
- [打刻検索](#)
- [お知らせ](#)
- [簡易マニュアル](#)
- [情報取扱基準](#)

物理学①(木曜1部2時限 10000000)

講時情報
出席情報

③			
④	教員名	回数	1回
⑥	教室名	教室	
⑦	時限	1部1時限	
⑧	開講時間	2007年09月28日 09時01分 ~ 09時28分	
⑨	WB-1S		
⑩	カード受付時間	開始 09時01分 ~ 09時10分	終了 09時25分 ~ 09時30分
⑪	呼び出しメッセージ		
⑫	コメント	test	

戻る

- ① 選択した科目を表示します。
- ② 表示しているページ情報をハイライト表示します。講時情報を選択することにより、現在表示している講時に対応する図 4 出席情報詳細画面を表示します。
- ③ 講時情報の詳細内容を表示します。
- ④ 現在表示している科目を基に、教員名を表示します。
- ⑤ 授業回数を表示します。
- ⑥ 教室名を表示します。
- ⑦ 開始時限コード・終了時限コードを表示します。
- ⑧ 授業開始日・授業開始時間・授業終了時間を表示します。
- ⑨ WB-1S 固有 ID を表示します。
- ⑩ カード受付開始時間・終了時間を表示します。
- ⑪ 呼び出しメッセージを表示します。
- ⑫ コメントを表示します。
- ⑬ 図 2 講時・出席情報一覧画面へ戻ります。

図 4)出席情報詳細画面

学生出欠管理システム 学生1

科目一覧 講時情報 出席情報

■ 物理学 (木1部2限 100000000) ②

■ 算術学 (金1部4限 100000001)

■ 地理学 (火1部1限 100000002)

■ 打刻検索

■ おしらせ

■ 簡易マニュアル

■ 情報取扱基準

物理学 ①(木曜1部2時限 100000000)

開講時間 ④	教員名 ⑤	回数 ⑦
2007年09月28日 09時01分 ~ 09時28分	スタッフ	1回
教室名 ⑥		
教室		

出欠判定 ⑧	打刻出欠 ⑨	打刻時間 ⑩	コメント ⑪
○	○	09時01分 ~ 09時28分	コメント

○:出席 ×:欠席
△:遅刻 ▲:早退

戻る ⑬

- ①選択した科目を表示します。
- ②表示しているページ情報を表示します。
- ③科目・授業開始日・開始時限コードを基に、講時情報の詳細内容を表示します。
- ④授業開始日・開始時間・終了時間を表示します。
- ⑤現在表示している科目を基に、対応する教員名を表示します。
- ⑥教室名を表示します。休講情報が設定されている場合は「休講」を表示します。
- ⑦授業回数を表示します。
- ⑧科目・授業開始日・開始時限コード・学生情報を基に、対応する出欠判定を表示します。
- ⑨科目・授業開始日・開始時限コード・学生情報を基に、対応する打刻出欠を表示します。
- ⑩科目・授業開始日・開始時限コード・学生情報を基に、対応する開始打刻時間・終了打刻時間を表示します。
- ⑪科目・授業開始日・開始時限コード・学生情報を基に、対応するコメントを表示します。
- ⑫出欠記号の意味の一覧を表示します。
- ⑬図 2 講時・出席情報一覧画面へ戻ります。

図 5)打刻検索画面

学生出欠管理システム 学生1

科目一覧

- [物理学](#)
(木1部限 100000000)
- [算術学](#)
(金1部限 100000001)
- [地理学](#)
(火1部限 100000002)

- [打刻検索](#)

- [おしらせ](#)

- [簡易マニュアル](#)

- [情報取扱基準](#)

打刻検索

日付 2007年 10月 18日^① 教室名 ^② ^③

- ① 打刻を検索する日付を選択します。
- ② 教室名を選択します。(教室名空白の場合、①で指定した日付の全打刻検索)
- ③ 「検索」ボタンを押下すると、図 6 打刻検索結果画面を表示します。

図 6)打刻検索結果画面

学生出欠管理システム 学生1

科目一覧

- [物理学](#)
(木1部2限 100000000)
- [算術学](#)
(金1部4限 100000001)
- [地理学](#)
(火1部1限 100000002)

- [打刻検索](#)
- [おしらせ](#)

- [簡易マニュアル](#)

- [情報取扱基準](#)

打刻検索

日付 2007 年 09 月 28 日 教室名

一覧表示 ①
更新時間：2007/10/18 19:20:45

打刻日時 ②	打刻場所 ③
2007年09月28日 09時08分01秒	207

- ① 更新時間が表示されます。
- ② 打刻時間が表示されます。
- ③ 打刻場所が表示されます。

3.4. WB-1S 画面

WB-1S 起動時に、「起動プログラム」が自動的に起動します。
必要な情報をサーバから取得後、図 1 の待ち受け画面が表示されます。

図 1)待ち受け画面



この状態で FeliCa カードをかざします。成功すると教員の場合図 2 教員登録画面、学生の場合図 3 学生登録画面が表示されます。

また可搬型の場合且つ教員証がかざされた場合は、図 15 イベント開始確認画面が表示されます。

※可搬型の場合、CF カードの使用を必須とします。

可搬型且つ CF カードが認識できない場合は「CFCardError」文字列が表示されます。

図2)教員登録画面



科目選択ボタンを押下すると、図 4 科目選択画面が表示されます。

携帯登録ボタンを押下すると、図 5 携帯登録画面が表示されます。

イベントボタンを押下すると、図 15 イベント開始確認画面が表示されます。

図 3)学生登録画面

教室名	1部2時限
情報工学概論	
名工次郎 様	
受け付けました 個別メッセージを表示します	
2007/06/05 15:55	<input type="button" value="携帯登録"/>

監視対象の学生がカードをかざした場合、監視設定を行っている教員に対し、打刻メールを送信する。携帯登録ボタンを押下すると、図 5 携帯登録画面が表示されます。

図 4)科目選択画面

科目選択 科目を選択してください	
物理学	数学I
情報工学概論	情報ネットワーク
知能処理学	知能処理アルゴリズム論
<input type="button" value="前ページ"/>	<input type="button" value="戻る"/>
<input type="button" value="キャンセル"/>	<input type="button" value="次ページ"/>

科目を選択した場合、図 5 開始時限選択画面を表示します。
戻るを選択した場合、図 2 教員登録画面を表示する。
キャンセルを選択した場合は、図 1 待ち受け画面を表示します。

科目を選択しないで 7 秒間経過した場合、図 12 タイムアウト画面(科目選択)を表示します。

図 5)開始時限選択画面

時限選択 開始時限を選択してください			
2限	3限	4限	5限
6限	7限	8限	9限
10限	2部1限	2部2限	
<input type="button" value="戻る"/>		<input type="button" value="キャンセル"/>	

時限を選択した場合、図 6 終了時限選択画面を表示する。
戻るを選択した場合、図 4 科目選択画面を表示する。
キャンセルを選択した場合は、図 1 待ち受け画面を表示します。

時限を選択しないで 7 秒間経過した場合、図 13 タイムアウト画面(開始・終了時限選択)を表示します。

図6)終了時限選択画面

時限選択			
終了時限を選択してください			
2限	3限	4限	5限
6限	7限	8限	9限
10限			
戻る		キャンセル	次へ

時限を選択した場合、同一時限の授業が3つ以下だった場合は、科目を登録し、図1 待ち受け画面を表示します。4つ以上だった場合は、図7 変更元科目選択画面を表示します。

次へボタンを選択した場合は、終了時限を空として授業を登録します。

戻るを選択した場合は、図5 開始時限選択画面を表示します。

キャンセルを選択した場合は、図1 待ち受け画面を表示します。

時限を選択しないで7秒間経過した場合、図13 タイムアウト画面(開始・終了時限選択)を表示します。

図7)変更元科目選択画面

変更元科目選択	
科目を選択してください	
物理学	数学I
オペレーティングシステム	情報ネットワーク
キャンセル	

科目を選択した場合、選択した科目を図4 科目選択画面で選択した科目に変更し、図1 待ち受け画面を表示します。

キャンセルを選択した場合は、図1 待ち受け画面を表示します。

科目を選択しないで7秒間経過した場合、図14 タイムアウト画面(変更元科目選択)を表示します。

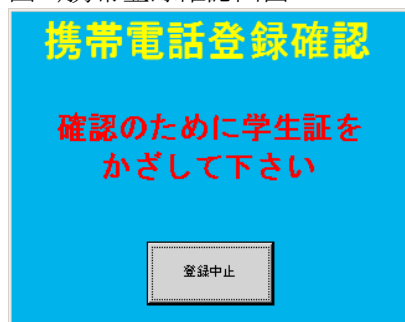
図8)携帯登録画面

携帯電話登録
携帯電話をかざして下さい
登録中止

携帯電話がかざされた場合、図9 携帯電話登録確認画面を表示します。

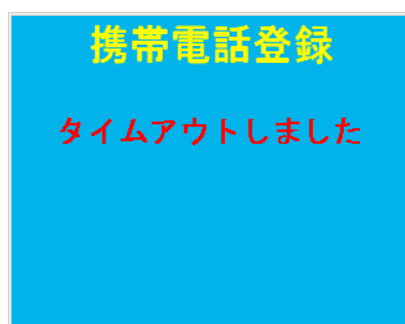
携帯電話をかざさずに7秒間経過した場合、図10 タイムアウト画面(携帯電話登録)を表示します。

図 9)携帯登録確認画面



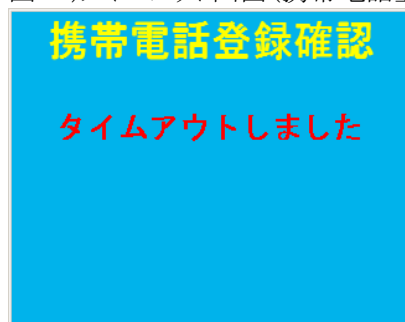
学生証または教員証をかざさないで 7 秒間経過した場合、図 11 タイムアウト画面(携帯電話登録確認)を表示します。

図 10)タイムアウト画面(携帯電話登録)



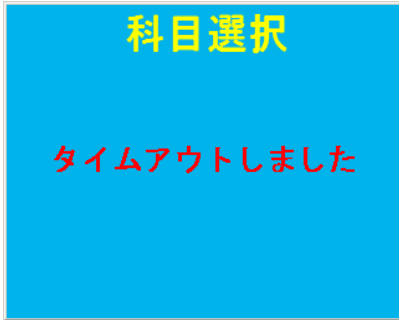
上記画面を表示後、図 1 待ち受け画面を表示します。

図 11)タイムアウト画面(携帯電話登録確認)



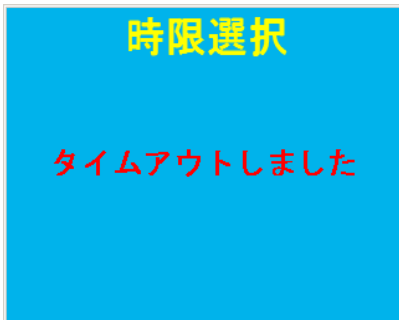
上記画面を表示後、図 1 待ち受け画面を表示します。

図 12)タイムアウト画面(科目選択)



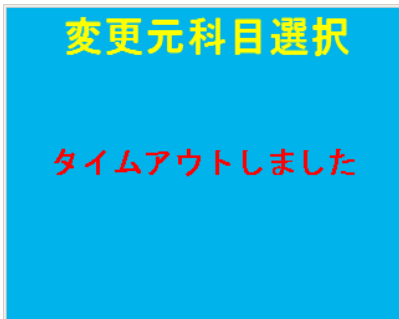
上記画面を表示後、図 1 待ち受け画面を表示します。

図 13)タイムアウト画面(開始・終了時限選択)



上記画面を表示後、図 1 待ち受け画面を表示します。

図 14)タイムアウト画面(変更元科目選択選択)



上記画面を表示後、図 1 待ち受け画面を表示します。

図 15) イベント開始確認画面

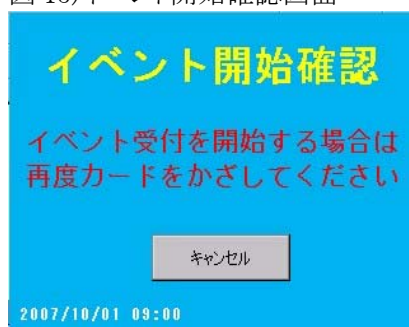


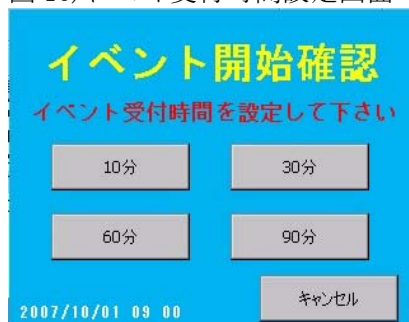
図 1) 待ち受け画面でかざされた教員証と同様のカードがかざされた場合且つ固定の場合、図 16 イベント受付時間設定画面を表示します。

また可搬の場合は、図 17 イベント待ち受け画面を表示します。

キャンセルボタンを押下した場合は、図 1 待ち受け画面を表示します。

教員証をかざさないで 7 秒間経過した場合、図 20 イベント開始確認タイムアウト画面を表示します。

図 16) イベント受付時間設定画面

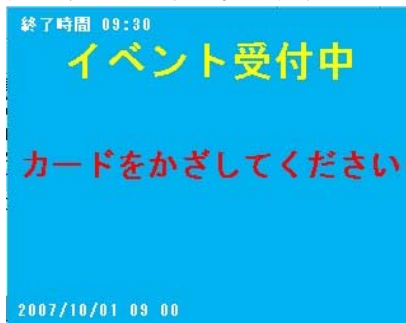


10 分、30 分、60 分、90 分のいずれかのボタンを押下した場合、図 17 イベント待ち受け画面を表示します。

キャンセルボタンを押下した場合は、図 1 待ち受け画面を表示します。

ボタンを押下しないで 7 秒間経過した場合、図 20 イベント開始確認タイムアウト画面を表示します。

図 17) イベント待ち受け画面



以下の条件の場合、各画面を表示します。

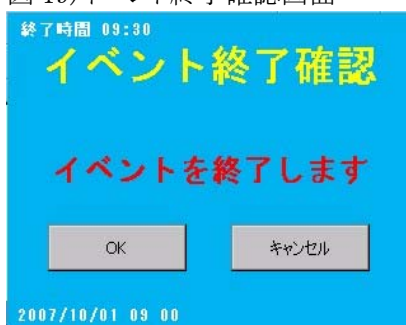
- 授業中ではなく学生証をかざした場合、図 18 イベント受付画面を表示します。
- 授業中でその授業を履修していない学生証をかざした場合、図 18 イベント受け付け画面を表示します。
- 授業中でその授業を履修している学生証をかざした場合、図 3 学生登録画面を表示します。
- イベントを開始した教員証と異なる教員証をかざした場合、図 18 イベント受け付け画面を表示します。
- イベントを開始した教員証と同様の教員証をかざした場合、図 19 イベント終了確認画面を表示します。

固定の場合、図 16 イベント受付時間設定画面で選択した時刻になった場合、イベントを終了し図 1 待ち受け画面を表示します。

図 18) イベント受け付け画面



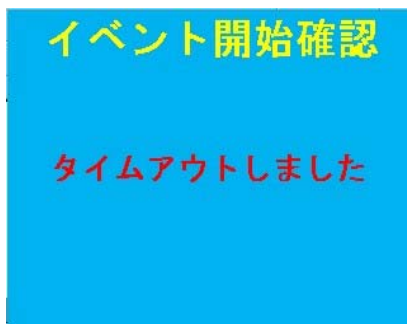
図 19) イベント終了確認画面



OK ボタンを押下した場合、イベントを終了し図 1 待ち受け画面を表示します。
キャンセルボタンを押下した場合、図 17 イベント待ち受け画面を表示します。

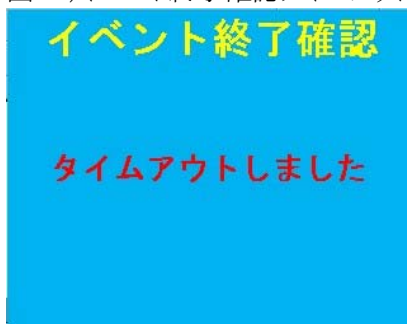
ボタンを押下しないで 7 秒間経過した場合、図 21 イベント終了確認タイムアウト画面を表示します。

図 20) イベント開始確認タイムアウト画面



上記画面を表示後、図 1 待ち受け画面を表示します。

図 21) イベント終了確認タイムアウト画面



上記画面を表示後、図 17 イベント待ち受け画面を表示します。

3.5. WB-1S のプログラム終了方法

注意： 保守作業員以外は、実施しないで下さい。

- ① USB キーボードを接続し、end を入力します。
- ② プログラムが終了し、WindowsCE の画面が表示されます。

3.6. WB-1S の再起動方法

下記に WB-1S の再起動方法を記します。

3.6.1. バッテリーが搭載されている場合

- ・ USB キーボードを接続し、プログラムを終了します。
- ・ 本体の右側面の PCMCIA スロットの横のリセットスイッチを押下します。

3.6.2. バッテリーが搭載されていない場合

- ・ USB キーボードを接続し、プログラムを終了します。
- ・ AC アダプタ(PoE の場合は LAN ケーブル)を抜き差しします。

3.7. WB-1S の設定ファイルの変更方法

WB-1S の設定ファイルの変更方法を以下に示します。

- ① サーバ上にある設定ファイルを変更します。
設定ファイルは、WB-1S 毎に存在する為、対象のファイルのみ変更します。
 - ・ WB-1S 設定ファイル:サーバの D:\inetpub\ftproot\ftuser\WB-1S\exe\xxxSetup.txt
xxx: WB-1S 固有 ID
- ② 管理者画面から、WB-1S 情報を変更します。
設定情報は、WB-1S 毎に存在する為、対象の WB-1S 固有 ID の項目のみ変更します。
- ③ 変更後、翌日反映されます。
直ぐに反映させる為には、WB-1S を再起動します。

3.8. WB-1S IP アドレス変更方法

WB-1S の IP アドレス変更方法を以下に示します。

- ① 管理者画面から、WB-1S 情報の IPAddress 項目を変更します。
- ④ 変更後、翌日反映されます。
直ぐに反映させる為には、WB-1S を再起動します。

3.9. サーバのアドレス変更方法

サーバの IP アドレス変更方法を以下に示します。

- ① サーバにある設定ファイルのサーバの IP アドレスを変更します。

ファイルは、上記「3.7. WB-1S の設定ファイルの変更方法」参照。

- ② WB-1S を再起動します。これにより、サーバ情報設定ファイルが WB-1S に反映されます。
- ③ サーバの IP アドレスを変更します。

※必ずこのタイミングで、変更して下さい。

上記手順以外で変更した場合、WB-1S 上で設定ファイルを更新する必要があります。

- ④ WB-1S を再起動します。これにより、WB-1S 内の設定が有効となり、新しい IP アドレスのサーバに対しデータの送受信が行われます。

3.10. FTP のログイン情報変更

FTP のログイン情報方法を以下に示します。

- ① サーバ上にある設定ファイル(Setup.txt)のサーバの FTP のユーザ及びパスワードを変更します。
ファイルは、上記「3.3. WB-1S の設定ファイルの変更方法」参照。

- ② WB-1S を再起動します。これにより、サーバ情報設定ファイルが WB-1S に反映されます。

- ③ サーバの FTP ユーザ及びパスワードを変更します。

※必ずこのタイミングで、変更して下さい。

上記手順以外で変更した場合、WB-1S 上で設定ファイルを更新する必要があります。

- ④ WB-1S を再起動します。これにより、WB-1S 内の設定が有効となり、新しい FTP ユーザにて、サーバに対しデータの送受信が行われます。

3.11. WB-1S 交換方法

WB-1S を予備の WB-1S と交換する方法を以下に示します。

- ① WB-1S に USB キーボードを接続し、プログラムを終了します。

終了方法は、「3.5. WB-1S のプログラム終了方法」を参照して下さい。

- ② Watch Doc Timer 用のスレッドが停止する為、WB-1S が自動で再起動します。

- ③ プログラム起動後、再度プログラムを終了します。

スレッドの開始時間前(DB 内の WB1S_TBL テーブルウォッチドック開始時間)に、プログラムを終了してください。

時間が経過し、スレッドの開始時間後にプログラムを終了した場合は、自動で再起動が発生するため、再度終了処理を実施して下さい。

尚、作業は 1 時間以内に実施して下さい。1 時間以上経過すると、Watch Doc Timer が機能し、再起動が発生します。

その場合は、再度終了処理を実施して下さい。

- ④ WB-1S から設定ファイル(¥FlashDisk¥nitech¥Setup.txt)を USB メモリにコピーします。

WB-1S 内からファイルの取得が出来ない場合は、サーバ上の設定ファイル

(D:¥inetpub¥ftproot¥ftpuser¥WB-1S¥exe¥xxxSetup.txt)を、Setuptxt ファイルとしてコピーします。

xxx: WB-1S 固有 ID の為、対象となる ID の設定ファイルを使用します。

- ⑤ WB-1S 内に¥FlashDisk¥nitech¥dakoku.txt ファイルが存在する場合は、同様に USB メモリにコピーします。

- ⑥ 電源と LAN ケーブル (PoE の場合は、LAN ケーブルのみ)を外し、WB-1S を交換します。

- ⑦ 交換した WB-1S に電源と LAN ケーブル(PoE の場合は、LAN ケーブルのみ)を接続します。

プログラムが起動するため、USB キーボードを接続し、プログラムを終了します。

- ⑧ USB メモリを接続し、WB-1S 内に、②③のファイルをコピーし、再起動します。

- ⑨ 起動後、再度プログラムを終了し、再起動します。

- ⑩ 教室名などが正しく表示されることを確認します。

新規の WB-1S を使用する場合は、先にインストール手順書を基に、WB-1S のインストールを行って下

さい。

3.12. WB-1S プログラムの更新方法

- ① サーバの「D:\inetpub\ftproot\ftpuser\WB-1S\exe\」フォルダに、最新の TimeRecord.exe をコピーします。
- ② サーバ上で、下記コマンドを実行し、DB に保存しているバージョン情報を更新します。
D:\Program Files\WB-1S\DB\WB-1S_VersionUp.bat “新しいバージョン”

例:D:\Program Files\WB-1S\DB\WB-1S_VersionUp.bat 1001

- ③ WB-1S 本体を再起動または、翌日にプログラムが WB-1S 内にコピーされ、反映されます。

3.13. バッチプログラムの実行方法

下記にバッチプログラムの実行方法を記します。
サーバ上から実行して下さい。

3.13.1. インポート

```
# D:\Program Files\WB-1S\import.bat [-new|-update] [-staff|-student|-felica] infile
```

import.bat : インポートプログラム
-new : 全置換モード
-update : 差分追加モード
-staff : 教職員情報登録モード
-student : 学生情報登録モード
-felica : FeliCa 情報登録モード
infile : 登録する CSV ファイル

例) 教職員情報を全置換で登録する場合は、下記となります
D:\Program Files\WB-1S\import.bat -new -staff infile

出力ログファイル:error.log

※ログファイルは、バッチファイル実行直下に作成します。

例) 実行場所が「D:\Program Files\WB-1S」の場合
D:\Program Files\WB-1S\error.log

3.13.2. エクスポート

```
# D:\Program Files\WB-1S\export.bat [-idm|-all]
```

export.bat : エクスポートプログラム
-idm : IDm 情報をエクスポートします。
-all : 全 DB をエクスポートします。

例) 全 DB をエクスポートする場合は、下記となります

```
# D:\Program Files\FWB-1S\export.bat -all
```

出力ログファイル: error.log

※ログファイルは、バッチファイル実行直下に作成します。

例) 実行場所が「D:\Program Files\FWB-1S」の場合

```
D:\Program Files\FWB-1S\error.log
```

3.13.3. 科目対応情報と授業情報のインポート

```
# D:\Program Files\FWB-1S\ classImport.bat [-new|-update] [-class|-subjects] infile
```

classImport.bat : インポートプログラム

-new : 全置換モード

-update : 差分追加モード

-subjects : 科目対応登録

-class : 授業情報登録

infile : 登録する CSV ファイル

例) 科目対応情報を全置換で登録する場合は、下記となります

```
# D:\Program Files\FWB-1S\ classImport.bat -new - class infile
```

出力ログファイル名: wb1sImport.log

※ログファイルは、バッチファイル実行直下に作成します。

例) 実行場所が「D:\Program Files\FWB-1S」の場合

```
D:\Program Files\FWB-1S\ wb1sImport.log
```

3.13.4. FeliCa 情報IDm2のインポート

```
# D:\Program Files\FWB-1S\ FeliCaImport.bat [-new|-update] infile
```

FeliCaImport.bat : インポートプログラム

-new : 全置換モード

-update : 差分追加モード

infile : 登録する CSV ファイル

例) 全置換モードでインポートする場合は、下記となります

```
# D:\Program Files\FWB-1S\ FeliCaImport.bat -new infile
```

出力ログファイル名: **error.log**

※ログファイルは、バッチファイル実行直下に作成します。

例) 実行場所が「D:\Program Files\FWB-1S」の場合

```
D:\Program Files\FWB-1S\error.log
```

3.13.5. 変更情報のインポート

```
# D:\Program Files\FWB-1S\ ChangeInfoImport.bat infile
```

使用する CSV ファイルは時間割システムより作成されます。

ChangeInfoImport.bat : インポートプログラム
infile : 登録する CSV ファイル

例) インポートする場合は、下記となります

D:¥Program Files¥WB-1S¥ ChangeInfoImport infile

登録ファイル形式「3.14.3 変更情報ファイル」参照

※ 「5.2.6 ログ出力の変更」設定によりログ出力パスが異なります。

出力ログファイル名

yyyymmdd_ChangeInfoImport.log

※ ファイル名のyyyymmddにはプログラム実行日が入ります。

例) 2008 年 10 月 1 日の場合

20081001 となります。

ログ出力パス設定が正しい場合

指定パス先にフォルダを作成しその中に出力します。

例) 設定パスが「D:¥log」の場合

D:¥log¥出欠管理_ChangeInfoLog¥yyyymmdd_ChangeInfoImport.log

ログ出力パス設定が正しくない又は、設定が無い場合

バッチファイル実行直下にフォルダを作成しその中に出力します。

例) 実行場所が「D:¥Program Files¥WB-1S」の場合

D:¥Program Files¥WB-1S¥出欠管理_ChangeInfoLog¥yyyymmdd_ChangeInfoImport.log

3.14. ファイル書式

3.14.1. 生データ CSV

出席情報ファイルの書式を以下に示す。

書式: 1 行目は項目名とし、2 行目からデータとする。

区切り文字はカンマとし、データはダブルコーテーションで囲う。

文字コードは Shift-JIS とする。

No.	項目	形式	Not Null	項目内容
1	科目名	文字	○	科目名
2	開講日	YYYY/MM/DD	-	開講日
3	開講時間	hh:mm	○	開講時間
4	担当教員名	文字	○	担当の教員氏名
5	学籍番号	文字	○	学籍番号
6	学生氏名	文字	○	学生氏名
7	暫定出欠情報	1: 出席 2: 欠席 3: 遅刻 4: 早退	-	暫定出欠情報

No.	項目	形式	Not Null	項目内容	
12		教室コード 8	文字		
13		教室コード 9	文字		
14		教室コード 10	文字		
15		教室コード 11	文字		
16		教室コード 12	文字		
17		教室コード 13	文字		
18		教室コード 14	文字		
19		教室コード 15	文字		
20		教室コード 16	文字		
21	変更後	日付	YYYYMMDD	変更後の授業実施日を設定する。	
22		開始時限	文字	変更後の開始時限を設定する。	
23		終了時限	文字	変更後の終了時限を設定する。	
24			教室コード 1	文字	変更後の教室コードを設定する。
25			教室コード 2	文字	
26			教室コード 3	文字	
27			教室コード 4	文字	
28			教室コード 5	文字	
29			教室コード 6	文字	
30	教室コード 7		文字		
31	教室コード 8		文字		
32	教室コード 9		文字		
33	教室コード 10		文字		
34	教室コード 11		文字		
35	教室コード 12		文字		
36	教室コード 13		文字		
37	教室コード 14		文字		
38	教室コード 15		文字		
39	教室コード 16		文字		

例を以下に示す。

科目コード<TAB>変更前日付<TAB>変更前開始時限<TAB>変更前終了時限<TAB>変更前教室コード 1<TAB>変更前教室コード 2<TAB>変更前教室コード 3<TAB>変更前教室コード 4<TAB>変更前教室コード 5<TAB>変更前教室コード 6<TAB>変更前教室コード 7<TAB>変更前教室コード 8<TAB>変更前教室コード 9<TAB>変更前教室コード 10<TAB>変更前教室コード 11<TAB>変更前教室コード 12<TAB>変更前教室コード 13<TAB>変更前教室コード 14<TAB>変更前教室コード 15<TAB>変更前教室コード 16<TAB>変更後日付<TAB>変更後開始時限<TAB>変更後終了時限<TAB>変更後教室コード 1<TAB>変更後教室コード 2<TAB>変更後教室コード 3<TAB>変更後教室コード 4<TAB>変更後教室コード 5<TAB>変更後教室コード 6<TAB>変更後教室コード 7<TAB>変更後教室コード 8<TAB>変更後教室コード 9<TAB>変更後教室コード 10<TAB>変更後教室コード 11<TAB>変更後教室コード 12<TAB>変更後教室コード 13<TAB>変更後教室コード 14<TAB>変更後教室コード 15<TAB>変更後教室コード 16
01000000<TAB>20060401<TAB>101<TAB>102<TAB>100<TAB><TAB><TAB><TAB><TAB><TAB><TAB><TAB><TAB><TAB><TAB><TAB><TAB><TAB>2006040<TAB>101<TAB>102<TAB>100<TAB><TAB><TAB><TAB><TAB><TAB><TAB><TAB><TAB><TAB><TAB><TAB><TAB><TAB><TAB><TAB><TAB><TAB><TAB><TAB>

<TAB>: タブのコード

3.15. バックアップについて

下記にDBのバックアップについて記します。

- バックアップ範囲

DB名 : WB1S

- スケジュール

開始時刻 : 0:10

実行間隔 : 毎日

- バックアップ先

保存場所 : C:\WB1S\BACKUP

ファイル名 : backup_yyyyMMdd.db

4. トラブル対応

4.1. 閲覧

4.1.1. 管理者ページにアクセスできない。

パスワード認証に失敗した場合、ブラウザを再起動する必要があります。
ブラウザを再起動し、再度パスワード認証を行って下さい。

4.1.2. ログインしていない旨のメッセージが表示される。

ログインしていないユーザは表示できません。ログインしてからアクセスして下さい。

4.1.3. ログインしているアカウントと違う情報が表示される。

同一 PC 上から、同時に複数ユーザでログインした場合、もう片方のユーザ情報が表示されます。
一度全てのユーザをログアウトし、1ユーザでのみログインして下さい。

4.1.4. サーバから WB-1S 障害メールが届く

メール内の WB-1S に障害が発生しております。
下記を確認して下さい。

- ネットワークに問題がないか。
ネットワークに問題がある場合、WB-1S からサーバに対し、正常に動作している信号が届かない為、障害とのメールが送信されます。
- WB-1S に問題がないか。
カードをかざし、動作するか確認して下さい。
動作しない場合は、WB-1S を再起動し、復旧しない場合は、WB-1S を交換して下さい。

4.2. WB-1S

4.2.1. WB-1S プログラムが自動で立ち上がらない

AutoRun にて起動プログラムが設定されていない可能性があります。
AutoRun の設定を確認して下さい。

4.2.2. コントロールパネルの設定がリブート(再起動)すると、元に戻る

コントロールパネルの設定を変更した場合、rFlush.exe を実行しないと設定が保存されません。
変更後、rFlush.exe を実行して下さい。

4.2.3. エラーメッセージが表示される

4.2.3.1 WB-1S 設定ファイル(Setup.txt)が存在しません。

原因:WB-1S 内に、設定ファイル(¥FlashDisk¥nitech¥Setup.txt)が存在していません。
対策:WB-1S 内の¥FlashDisk¥nitech フォルダに Setup.txt を配置して下さい。

4.2.3.2 起動プログラムが存在しません。

原因:WB-1S 内に、起動プログラム(¥FlashDisk¥nitech¥FileDownLoad.exe)が存在していません。
対策:WB-1S 内の¥FlashDisk¥nitech フォルダに FileDownLoad.exe を配置して下さい。

4.2.3.3 xxx の値を設定して下さい。

原因:xxx に値が設定されていません。
対策:xxx に値を設定する必要があります。
xxx: 設定ファイルの項目名が表示されます。

例)

IPAddress の値を設定して下さい。

4.2.4. xxx の桁数を確認して下さい。

原因:xxx の桁数が間違えています。
対策:正しい桁数で設定されているかを確認して下さい。
xxx: 設定ファイルの項目名が表示されます。

例)

WB1S_ID の桁数を確認して下さい。

4.2.5. xxx の値を数値で設定して下さい。

原因:xxx の値が数値ではありません。
対策:xxx の値を数値で設定して下さい。
xxx: 設定ファイルの項目名が表示されます。

例)

sendreceivetime の値を数値で設定して下さい。

5. 設定ファイル

5.1. WB-1S の設定

WB-1S の設定ファイル情報を以下に示します。

5.1.1. IP アドレスの変更

WB-1S の IP Address を設定します。NetMask、DefaultGateway も同様に設定します。
※WB-1S 再起動後に設定が反映されます。

```
IPAddress=x.x.x.x  
NetMask=255.255.255.0  
DefaultGateway=x.x.x.x
```

5.1.2. DNS の変更

DNS を設定します。
※WB-1S 再起動後に設定が反映されます。
例)

```
DNSServer=x.x.x.x
```

5.1.3. NTP の変更

NTP を設定します。
※WB-1S 再起動後に設定が反映されます。
例)

```
NTPServer=x.x.x.x
```

5.1.4. サーバの変更

サーバの IP を設定します。

指定したサーバに対し、データベースの出欠情報の更新を行い、FTP により設定ファイルの取得を行います。

※プログラム再起動後に設定が反映されます。
例)

```
ServerIPAddress=x.x.x.x
```

5.1.5. FTP の変更

FTP のポートを設定します。
※プログラム再起動後に設定が反映されます。
例)
FTPPort=21

FTP のログインユーザを設定します。
※プログラム再起動後に設定が反映されます。
例)
FtpUser=xxxxx

FTP のログインパスワードを設定します。
※プログラム再起動後に設定が反映されます。
例)
FtpPassword= xxxxxxr

FTP のルートディレクトリを設定します。
※プログラム再起動後に設定が反映されます。
例)
FtpDir = WB-1S

FTP のタイムアウトを設定します。
※プログラム再起動後に設定が反映されます。
例)
FtpTimeout = 300

5.1.6. DB の変更

DB のポートを設定します。
※プログラム再起動後に設定が反映されます。
例)
DBPort=5432

DB 名を設定します。
※プログラム再起動後に設定が反映されます。
例)
DBName=WB1S

DB のユーザを設定します。
※プログラム再起動後に設定が反映されます。
例)
DBUser=xxxxxxx

DB のパスワードを設定します。
※プログラム再起動後に設定が反映されます。
例)
DBPassword=xxxxxxx

DB 情報取得間隔を設定します。
※プログラム再起動後に設定が反映されます。
例)
SendReceiveTime=10

5.1.7. メモリの変更

メモリの使用領域を設定します。
※プログラム再起動後に設定が反映されます。
例)
MemFreearea=10

5.2. バッチファイルの設定

設定ファイルは「D:\Program Files\WB-1S\」直下に存在します。

※ 該当ファイルは時間割システムと共通で使っています。

5.2.1. ID の変更

DB の ID を設定します。

※プログラム再起動後に設定が反映されます。

例)

```
userid= xxxxxxx
```

5.2.2. パスワードの変更

DB のパスワードを設定します。

※プログラム再起動後に設定が反映されます。

例)

```
password=xxxxxxx
```

5.2.3. サーバ IP の変更

DB のサーバ IP を設定します。

※プログラム再起動後に設定が反映されます。

例)

```
server= 127.0.0.1
```

5.2.4. DB 名の変更

DB 名を設定します。

※プログラム再起動後に設定が反映されます。

例)

```
database= WB1S
```

5.2.5. DB ポートの変更

DB ポートを設定します。

※プログラム再起動後に設定が反映されます。

例)

```
port=5432
```

5.2.6. ログ出力の変更

ログ出力先を設定します。

※プログラム再起動後に設定が反映されます。

例)

```
OutPutLogPath=D:\log
```